

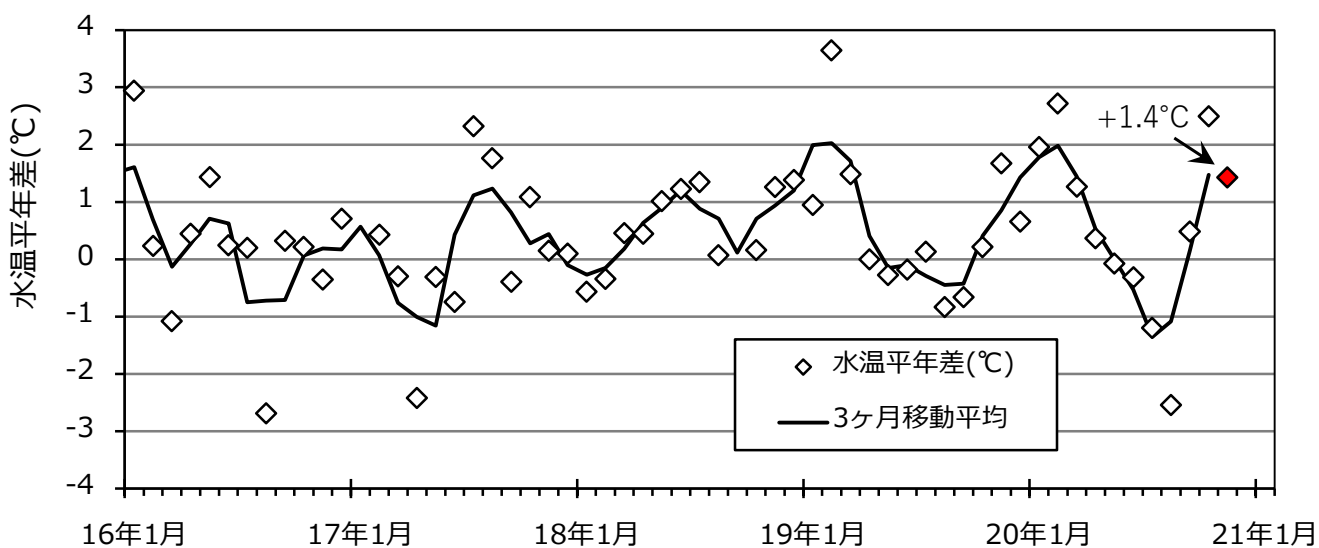
## 【水温の変動】

11月5日、6日に、調査船海幸丸により渥美外海の観測を実施しました。湾口部では平年差+1.4°Cでやや高め、沖合域では+0.3°Cで平年並みでした。

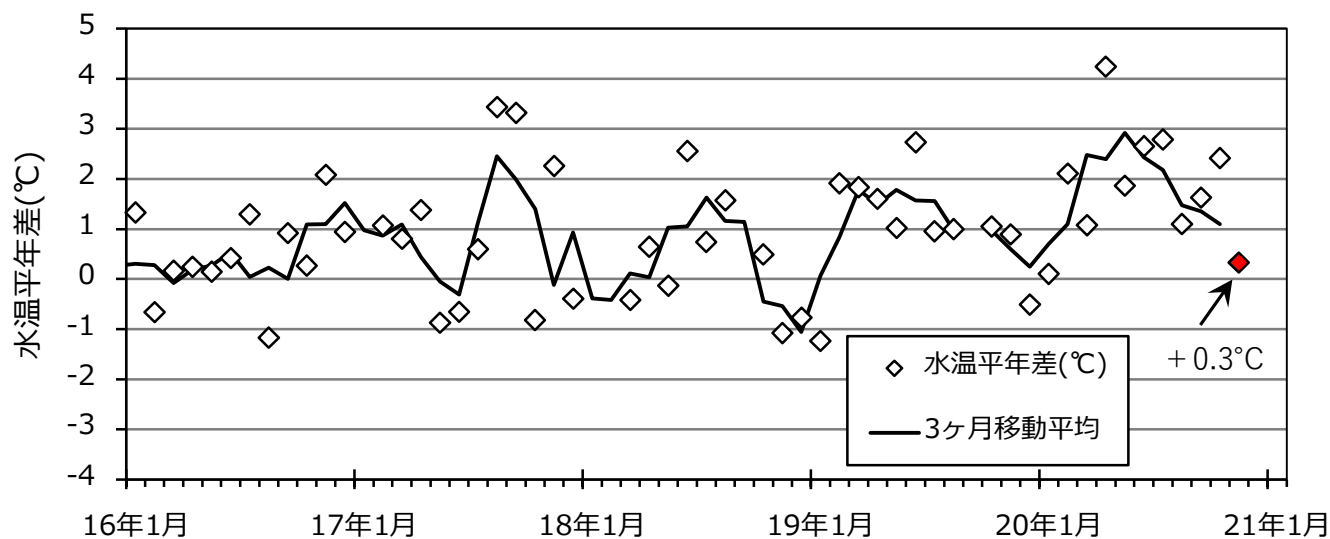
11月5日の人工衛星画像によると、黒潮は室戸岬沖を離岸、潮岬沖を大きく離岸して北緯29度付近まで南下した後、熊野灘沖をS字状に北上して房総半島沖へ流れている模様です。

黒潮から沿岸部へ暖水が流入しています。また、小規模な冷水塊が遠州灘沖に存在しています。

### 湾口部表層（A1）における水温平年差の変動



### 沖合域水深 200m（A4, A12, A19 の平均）における水温平年差の変動



※水温平年差は過去10年平均値との差

## 【渥美外海の海況】

渥美外海の水温は、表層で 20.3~22.8°C、水深 100m で 14.3~17.9°C、200m で 11.8~12.2°C になっていました。水温は沿岸域で低く、黒潮からの暖水波及の強い大王崎沖で高くなっています。鉛直断面図を見ると、水深 0~50m は均一な水塊となっています。また、等温線の傾きは全体的に右上がりとなっており、西向きの強い流れとなっている模様です。

### 水温の水平分布図と水温、塩分、密度の鉛直断面図

